

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションI

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションI 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ F 組

使用教科書： ((177増進堂 CI720) FLEX English Communication I)

教科 外国語

の目標：

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションI の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
関係副詞や分詞構文などに加えて、語彙や表現など、用法や意味を理解している。また本書を通して学習する社会的、文化的な内容について、簡単な語句や文で示された内容の要点を捉えたり、自身の考えや意見を簡単な語句や文を使用して、発信したりする技能を身につけている。	社会的、文化的な内容についての会話や説明を聞いたり読んだりして、内容の要点を捉えている。また、また、聞いたり読んだりして理解した内容を、学習した文法や表現、簡単な語句を用いて、聞き手や話し手、書き手を意識し、自身の考えや意見を伝え合ったり、事前に準備したものなど活用して発表したり、理由や根拠を示しながら、まとまりのある文章を書こうとしている。	社会的、文化的な内容についての会話や説明を聞いたり読んだりして、主体的に理解しようとしている。また、聞いたり読んだりして理解した内容を、主体的に英語を用いながら聞き手や話し手、書き手に配慮しようとしている。それに基づいて、自身の考えや意見を伝え合ったり、事前に準備したものなど活用して発表したり、理由や根拠を示しながら、まとまりのある文章を書こうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 「 や 」	話 「 発 」	書					
1 学 期	A 単元 Lesson 1 【知識及び技能】 ・ 語句の意味および発音を定着させる。 ・ 「助動詞」「to+不定詞」の表現を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 松岡修造氏の金言に込められた思いを読み取る。	・ 指導事項 ・ 教材 ・ 一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	・ 語句の意味および発音を定着している。 ・ 松岡修造氏に対して我々が持っているイメージと実際のギャップを読み取らせる。 ・ 松岡修造氏の金言に込められた思いを読み取る。 ・ 松岡修造氏から高校生へと向けられたメッセージの意味を理解させる。	○	○	○	6
	B 単元 Lesson 2 【知識及び技能】 ・ 語句の意味および発音を定着させる。 ・ 「動名詞」「間接疑問文」の表現を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 大学教授の学生たちに見せたジャークの発言が何を意味しているのかを推察する。	・ 指導事項 ・ 教材 ・ 一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	・ 語句の意味および発音を定着する。 ・ 大学教授の学生たちに見せたジャークの実践が何を意味しているのかを自分なりに推察する。 ・ ジャークの中に入れられる泥、砂、石がそれぞれ何を表しているのかを読み取る。 ・ ジャークの中に泥、砂、石を入れていく順序について読み取る。	○	○	○	9
	定期考査							○	○		1
	C 単元 Lesson 3 【知識及び技能】 ・ 語句の意味および発音を定着させる。 ・ 「後置修飾」「現在完了形」の表現を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 環境にやさしいエネルギーを持つ問題点を読み取る。	・ 指導事項 ・ 教材 ・ 一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	・ 語句の意味および発音を定着する。 ・ 環境にやさしいエネルギーを持つ問題点を読み取る。 ・ SSPS計画とは、どのような計画かを理解する。 ・ その計画にはなぜ資金が莫大にかかるのか、問題点を読み取る。 ・ JAXAが困難な計画にもかかわらず、実現を目指している理由を理解させる。	○	○	○	8
D 単元 Lesson 4 【知識及び技能】 ・ 語句の意味および発音を定着させる。 ・ 「関係代名詞」「過去完了形」の表現を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ マララがどのような環境下で生まれたかを読み取る。	・ 指導事項 ・ 教材 ・ 一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	・ 語句の意味および発音を定着する。 ・ マララがどのような環境下で生まれ育ったかを読み取る。 ・ マララが10歳のときに故郷で起きた出来事について理解する。 ・ 思いを伝えるためにとったマララの行動を読み取る。 ・ 教育を受けたいという、マララの願いを理解させる。	○	○	○	8	
定期考査							○	○		1	
2 学 期	C 単元 Lesson 5 【知識及び技能】 ・ 語句の意味および発音を定着させる。 ・ 「使役動詞」「節を導く形式主語it」の表現を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 「使役動詞」「節を導く形式主語it」の表現を理解させる。	・ 指導事項 ・ 教材 ・ 一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	・ 語句の意味および発音を定着する。 ・ 富士山の特徴や日本文化への影響を読み取る。 ・ 富士山へ登るのは、どのような歴史的な背景があったかを読み取る。 ・ 富士山がどんなものに影響を与えたかを理解する。 ・ 浮世絵師の作品はどのような部分に影響を与えたかを読み取る。	○	○	○	9
	C 単元 Lesson 6 【知識及び技能】 ・ 語句の意味および発音を定着させる。 ・ 「関係代名詞」「強調構文」の表現を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 「関係代名詞」「強調構文」の表現を理解させる。	・ 指導事項 ・ 教材 ・ 一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	・ 語句の意味および発音を定着させる。 ・ 『きかんしゃトーマス』という作品の概要を読み取らせ、SDGsが取り入れられるに至った流れを理解させる。 ・ SDGsの概要について読み取らせ、『きかんしゃトーマス』に取り入れられた6つのゴールについて理解させる。 ・ SDGsが取り入れられた『きかんしゃトーマス』の各エピソードの概要を把握させる。	○	○	○	9
	定期考査							○	○		1
	C 単元 Lesson 7 【知識及び技能】 ・ 語句の意味および発音を定着させる。 ・ 「関係代名詞の非制限用法」「関係副詞」の表現を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 「関係代名詞の非制限用法」「関係副詞」の表現を理解させる。	・ 指導事項 ・ 教材 ・ 一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	・ 語句の意味および発音を定着する。 ・ 「仮想水」とは何かを読み取る。 ・ 日本が仮想水を多く使用しているその背景を理解する。 ・ 日本がさまざまな国から食べ物を輸入している原因を読み取る。 ・ どれくらいの量の輸入食品を浪費しているか読み取る。 ・ 「関係代名詞の非制限用法」「関係副詞」の表現を理解させる。	○	○	○	10

<p>D 単元 Lesson 8</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 語句の意味および発音を定着させる。 ・ 「仮定法過去」「仮定法過去完了」の表現を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導事項 ・ 教材 ・ 一人1台端末の活用 等 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語句の意味および発音を定着する。 ・ 山海教授が開発したHALと呼ばれるロボットについて読み取る。 ・ 日本の出生率が低下することで、どのような問題が起こりうるか考える。 ・ 山海教授がロボットに興味を持った 	○	○	9
--	---	---	---	---	---	---	---	---	---